

きずなをつなぐ

「タスキリレー」

○姉妹都市の経緯

昭和61年10月 旧両津市と入間市の姉妹都市協定締結
 平成23年5月 佐渡市と入間市の間で姉妹都市交流推進宣言書調印
 これまで、両市の文化やスポーツ、物産展等の交流を実施



埼玉県入間市と佐渡市の姉妹都市提携は、今年で30周年を迎えます。これを記念して、7月2日(土)、3日(日)の2日間にわたり、入間市・佐渡市姉妹都市提携30周年記念スポーツ交流事業「タスキリレー」が開催されました。

入間市からは田中龍夫市長をはじめ、入間市体育協会など約40人が来島し、佐渡の外周を入間市と佐渡市の走者が交互にタスキをつなぎながら、佐渡一周約200キロを走り抜きました。

スタート地点のあいぽーと佐渡では、入間市長と佐渡市長が同時に出発し、大佐渡方面と小佐渡方面に分かれて走り出しました。初日はとても蒸し暑く、2日目は前日とは違ってかわって大雨の中でのリレーとなり、決して走りやすい環境ではありませんでしたが、お互いに励まし合いながら両市のきずなの証しともいえるタスキを交互につなげていき、ゴールである市役所本庁舎に無事たどりつくことができました。

今後もしさまざまな交流イベントを行いながら、入間市とのきずなを深めていきます。



互いに励まし合いながら
タスキをつなぐ



第1走者と最終走者を田中入間市長、
三浦佐渡市長がつとめました

『若者支援 指定寄附金』を いただきました

旧小木町出身で千葉県在住の堀口智顕(ほりぐちともあき)さんから、「高い志を持つてがんばる若者の育成に役立ててほしい」と2千万円の寄附がありました。

佐渡市では、誠実で豊かな人間性に基づいた、社会に貢献する人材の育成を目的として、佐渡市堀口基金を設置しています。いただいた寄附金をこの基金に積み立て、がんばる若者の人材育成に活用させていただきます。ありがとうございます。

お問い合わせ

市役所地域振興課
地域振興係

☎ 63-4152